

2016/17 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



第 2582 回例会 2017 年 2 月 22 日 (水) SAA (司会) / 杉井会員 会報担当 / 平野会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 ニュー南総ゴルフクラブ

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング それでこそロータリー
- お客様 市原市芸術祭推進室 主事 平田悟一様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄



皆さん、こんにちは。

今日のお客様は、市原市芸術祭推進課「いちほらアートxミックス」担当の平田様です。今日で2回目のご説明に来られました。会員の皆様も是非ご検討され、多くの会員に協賛していただければと思います。さて、本日のメインプログラムは、会員による卓話です。ロータリーなどについてもポリシーをお持ちの津留会員と上野会員にお願いしておりますが、お二人からどのような話が聞けるのか楽しみです。

ところで、先週16日に第3分区A・B合同のインターシティーミーティングが開催されました。所用などがあり出席出来なかった会員の方々には報告させていただきますと、出席者は総数230名ほどで当クラブからは10名が参加しました。そのプログラムは、ロータリー研修委員会の千葉クラブ・清田委員が「米山梅吉翁の足跡を辿りロータリーの真髄を知る」という演題で基調講演をされました。日本のロータリー創設者であり奉仕の人と評される米山梅吉については、ガバナー月信1月号にも記載されておりますが、三井報恩会での事業などをみましてもその滅私奉公的な行動を再認識させられました。また、奇しくもポール・ハリスと同年に生を受けたということも何かの繋がりを感ずります。その後、「ロータリーの明日を語る」というテーマでパネルディスカッションがありました。金親ガバナー補佐がコーディネーターとなり、会員歴の異なる4名のパネリストに問いかけ、その思いをそれぞれが答えていました。各人のロータリーへの思いは異なっておりましたが、私拝聴しながら自分と比べておりました。そして、その総評として、白鳥研修リーダーが東芝とホンダを例にあげながら、「ロータリーも時代につれて変遷する

だろうが、その真髄を根底においてさえいれば何ら恐れることはない。」という趣旨の話で締めくくられました。

そして、これは米山奨学会に類似した話ですが、昨日大阪出張の帰り新幹線の中でウェッジという冊子を読んでおられますと偶然にもこの米山梅吉翁と志が似通った人が紹介されておりました。その方は「ロナルド・チャオ」という香港人実業家です。ご存知の方は、いらっしゃいますでしょうか。1962年に東京大学を卒業された大の日本びいきの方とのことです。この方は、日中韓台香港それぞれ政治的に不安定さが増す東アジア情勢ですので、学生の交流を増やすことでアジアの架け橋となるリーダーを育むという趣旨から1億5千万米ドル（日本円で約180億円）の私財を投じ奨学金基金を創設されております。この奨学金授与生の人数も年々増えており、日本国内では一昨年が42人、昨年は45人となりました。このような青少年育成事業により、ロータリーソングではありませんが、世界が平和になればと思います。

また、本日報告しましたインターシティーミーティングですが、来年は当クラブと千葉幕張クラブがホストとなります。小池ガバナー補佐を輩出します当クラブが主ホストになることが決まっておりますので、クラブをあげて準備をしていかねばなりません。宜しくお願い致します。以上で、本日の会長挨拶を終わります。有難うございました。

■幹事報告

1. 地区よりハイライトよねやま203号が来ましたので、皆様にメールでお送りしました。是非ご一読下さい。
2. 地区よりRLIパートⅢ開催の案内がきました。ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。
3. 以前にご案内しましたが、2017年度のロータリー手帳をご希望の方は早めに事務局までご連絡下さい。

■お客様ごあいさつ

市原市役所 芸術祭推進課 主事 平田様

4月8日～5月14日 ICHIHARA ART×MIX 2017を開催いたします。鑑賞パスポートのご購入をよろしくお願いいたします。

本日のメインプログラム

誕生月卓話〔津留会員・上野会員〕

津留会員

◆まえがき

上野さんの素晴らしい米山奨学生卓話に続いて、誕生月卓話の機会をいただきありがとうございます。プログラム委員長より、フリートーク

でOKとお許しをいただいておりますので、思いつくままのおしゃべり卓話となりますので、宜しくお付き合いの程お願いいたします。

◆誕生日

この2月24日で満68歳と相成ります。歳まわりの一区切りとして、還暦がありますが、その時はさほど感じたことはありませんでしたが、65歳の時はショックを多少なりとも受けております。

それは、65歳と言う事ではなく、前期高齢者の仲間入りになってしまったと言う事です。



誕生日 めでたくもなし 六十五

誕生日 祝い事なし 六十五

高齢者 前期に入る 六十五

そして、またさらに追い打ちをかけるのは、さっき保存したファイルをどこに仕舞ったのか、探すのにまた時間がかかってしまうことです。廊下現象（探し回るので廊下をうろろろすること）に自分でもいやになる訳ですが、でもこの歳まで市原RCの仲間として迎えていただき、素晴らしい諸先輩方と共にした時間を過ごせることは、何事にもかえがたく、大切なものとなっておりますので、歳を取ると言う事もまんざらではないようです。

家に15歳になる猫(メス)がいます。日向にゆっくり座りながらの所作を、家内に向かって「年老いた 猫も化粧の 毛づくろい」か、とポツリ。「女性はいくつになっても女です」とにらまれてしました。

◆プログラムファン

一周間ほど前にIMがあり、テーマは「R 米山記念奨学会プログラム」でした。米山梅吉さんが苦学生の支援をするといういわゆる井戸を掘りましたが、そこで止まることなく水道管を整備してくまなく水を配給するという、それまで一つの井戸だけというプログラムをこれほどの世界に誇るプログラムに育て上げたのは、東京RCの古沢文作氏（大連宣言の創作者）をはじめ、クラブ会員のリーダーシップがあったからです。発想と展開がリーダーシップによってうまく連動し、将来に続くレールが敷かれたプログラムとなっております。

上野さんのスライド上映で最後の画面に、「一番楽しんだのはカウンセラー」という一文を見つけました。これと同じように、青少年交換プログラムに携わっているロータリアンやボランティアも同じ心持ちだと思えます。ですから、米山カウンセラーと同じように、プログラムのファンになってしまいます。ファンとなった上野さんが目標として米山の特別寄付を毎年続けたいとお話になりましたが、交換学生の世話をするホストファ

ミリーを長く担っておられる方々も、プログラムファンとなったから学生のお世話をさせていただけるのだと思います。

◆ファンと言えば、野球場

奉仕（サービス）という球場で、ライトに（Rotary）とレフトに（Lions）、センターに（Soroptimist、“C”ではないのですが）、キャッチャーに（Kiwanis“C”ではないのですが）と、名だたる選手が守っています。しかし、観ているファンは、RSLKを区別してはいません。奉仕チームの一人として応援をしているだけです。これらを区別して意識するのは、実はプレーヤーだけです。

極論を言えば、Rotaryの1万円とLionsの1万円は、もらう側からすればどこにも違いはありません。価値は同じです。この方約100年間にわたり「ロータリーは何ですか?」との問いに明快に答えてはなりません。ことさらLionsとの違いをまくし立てても、垣根の外にいる観客には何のことかわかるはずはありません。それならいっその事、「世界でいい事をしてと思っている奉仕人の集まりです」と開き直ったほうが、よほどさっぱりします。

紀元2世紀ごろの古代ローマ帝国賢帝マルクス・アウレリウスは、「善い人間の如何（いかん）について論ずるのはいい加減に切り上げて、良い人間になったらどうだ」の名言を残しています。

D 2840 本田PDGが、「ロータリーの希望—奉仕の理念とその実践をめぐって—」というご自身のガバナー月信原稿をまとめた著作があります。また、これを補完するセミナー講演記録「『奉仕の理念』が世界を救う—古典的職業奉仕論を超えて—」があります。

この講演記録にある「『目標設定計画』に書かれた『奉仕の理念』の意味」の節は、容易に理解できるように配慮された文章であり、また大変興味深く読むことが出来ました。

しかし、無邪気な心持のロータリアンと綱領、目的、奉仕の理想、奉仕の理念（SAS, PMSB）について、100年間でめまぐるしく変わった事の解説をなるほどと思っているロータリアンとの間に、何処に違いがあるのでしょうか、外から見る観客にとって。

ポールが、空の上から微笑を浮かべながら、ぼつりと一言。「ロータリーの如何（いかん）について論ずるのはいい加減に切り上げて、良い奉仕人になったらどうです」

◆深川純一先生と鈍感力

論語に「人に知られないことを恨むのではなく、人を知らないことを恐れる」とあります。D 2670（四国）とD 2680（兵庫）は、合同でR YLAセミナーを小豆島にある余島（YMCAの島）で開催しています。数年前に一度参加をしたことがあります。その時先生は、「私はいつも恐れて講演をしている。私より優れている人が必ず聞いている。だから精一杯のお話をしなければならぬ。」と語っております。「この深川にして・・・」と驚いたと同時に、恐れを知らない自分を大いに反省しましたが、いまだにその気は幾分残っているようです。

最後のゴゼ、小林ハルさんは、二人同行でも「いい人と歩けばまつり、悪い人と歩けば修行」と語っております。どのようなグループにも「まつり」と「修行」を感じる事があります。渡邊和子さんの「その場で咲くしかなければ咲けばいい」訳で、あまり気にしない事にしています。ある程度の開き直りです。この頃、「鈍感力」なる造語があるようですが、これがなかなか難しい。神経を抜いた歯の様に、感情を殺すすべとしては有効だと思いますが。

◆ロータリーとお金について

高槻の大きなお寺のご住職さん、国際ロータリー日本青少年交換委員会アドバイザーの近藤さんです。永い間交換プログラムに携わってお

れ、RI青少年交換委員をはじめプログラムの重要な役職を歴任されておられます。曰く「なんぼロータリーで奉仕をしようと思っても、自身お金がなかったら潔くロータリーをやめたら良いのとちゃいますか。やめてもなんぼでも奉仕はできませ。ぎょうさんの人を救うのとちゃいます。一人、たった一人でもいいんです、ご自分でお救いになれるのは」。これで私の迷いは吹っ切れました。止まりがないロータリーに限りがあることを教えていただきました。「たった一人を救う」とは、マザーテレサの言でもあります。

◆多地区合同奉仕プログラム

「国際ロータリー日本青少年交換委員会」と言えば、いまこのプログラムを多地区合同にする為に、各クラブに賛否のアンケートが回っているはず。是非賛成を宜しくお願い致します。

◆あとがき

西村会長が「ポリシーのある津留さんです・・・」との紹介がありましたが、私にはポリシーなどありません。あるのはポリシーだけです。とりとめがなく、まとまっていませんが、誕生月卓話としてお時間と機会をいただき心より感謝申し上げます。

注記：SAS: Service Above Self

PMSB: He Profits Most Who Service Best



上野会員

皆様こんにちは。本日、【結婚誕生卓話】をします上野です。

1963年2月4日生まれですので、54歳になりました。

昨年の卓話は2月3日で、地区の米山記念奨学委員会の活動の話とうでした。本日はその続きとなります。皆様ご承知の通り、米山記念奨学生は4月から3月までが年度ですので、3月に終了式を行います。先ずは、その時使用した【米山記念奨学生の一年】と題した映像リポートをご覧頂きたいと思います

〔上映〕

皆さん、いかがでしたか?委員長の成田RC堀口さんが作成したのですが、私は、愛情あふれる心のこもった映像リポートだと思っています。端的に言うに奨学生は、日本で勉強する為のお金が欲しくて応募して来ます。面接を経て奨学生となっても、ロータリーの事は勿論、米山梅吉さんの事などあまり理解はしていません。そこからたった1年、2年でロータリー米山記念奨学会の目指す、【将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する留学生となる】、【ロータリークラブを通

動画はこちらからご覧ください

して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となる】となるのでしょうか?やはり何より特色である【世話クラブとカウンセラー制度】が重要なのだと思います。人と人は、時間を共有すればするほど親密になります。映像リポートの奨学生のメッセージから世話クラブとカウンセラーの皆さんの奨学生に対する優しさを感じられるのは、私だけでしょうか?

結びになりますが、私は、地区の米山記念奨学委員会で活動して決めたことがあります。それは、ロータリーに在籍している限り【米山記念奨学会への10万円の特別寄付】を出来る限り続ける事です。これは一年間活動して、この事業をよく理解出来た事はもちろんですが、一年間【熱い想い】で活動されていた、堀口委員長（成田RC）と山崎副委員長（佐原香取RC）との約束でもあります。そして機会があればいつかはカウンセラーを経験してみたいと思っています。以上ご清聴ありがとうございました。

委員会報告等

・福原会員 会員増強委員会です。会員候補のご紹介をよろしくお願い致します。

・始関社会奉仕委員長 皆様のテーブルに当クラブの地域社会貢献基金で支援させていただいている市原米沢の森を考える会の鶴岡代表が参加するパネルディスカッション「歴史の中の里山とローカル鉄道」のご案内をさせていただきましたのでよろしくお願い致します。

◆◆◆◆ニコニコ・ソーリー◆◆◆◆

小池会員 IMが終了し、いよいよ次年度の準備が始まります。第3分区分BのIMや情報研究会の開催についてご協力ご支援を頂きたく、お願い申し上げます。

上野会員 卓話させていただきありがとうございました。

西村会長・岡本幹事 芸術祭推進課の平田様、本日はお越しいただきありがとうございました。上野会員、津留会員卓話ありがとうございました。

■出席報告 前々回確定 61.56% 本日出席 19名

欠席 21名 本日出席率 52.78%

■点 鐘 市原RC会長 西村芳雄